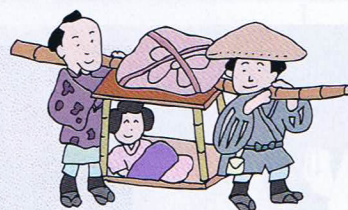


はづ

No.42

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会
羽津地区地域社会づくり推進委員会

平成13年10月5日



東海道400年祭

in はづ

催し物

- 子どもみこし
- 獅子舞披露
- 羽津見どころマップ配布

「ここにきて旅人の心を慰めるもの。東の海は白砂青松。沖には白帆。西に小高い丘山。禿^は山の土は赤く、頂上には天狗さんの腰掛け松が見える。いつき山、鶴山、垂坂山と続きこれ以上南に立なし」。東海道を京に上る旅人が羽津の地内に入ったとき、目の前に広がった風景はこのようなものでした。

かつて多くの人の往来で賑わい、今も地域の人に親しまれている東海道を中心に、羽津の見どころマップをご紹介します。

盆踊大会

平成十三年度地区盆踊り大会「二十一世紀発サマーフェスティバルインほづ」は八月十一日(土)羽津小学校、校庭にて盛大に開催されました。



前日は雨天で心配された天候も回復し、二十一世紀初めての行事にふさわしい日となり、内容も、カラオケ、踊りコンクール、お楽しみ抽選会、各種団体による模擬店等、昨年より取組んでいるゴミの分別指導をして頂きました。今年もまだまだ問題はありました。改善しながら今後につなげたいと思います。



お陰様で夏祭りも無事大盛況に終り、関係者の方々には準備、本番、後片付けと連日暑い中のご協力ありがとうございました。(文化部会)

羽津幼稚園紹介



幼児は友達と一緒に遊び、集団生活をする事でこれからの人生の基礎となる優しさ、たくましさ・規律などを学びます。羽津幼稚園では幼児期にふさわしい夢のある活動、思い出に残る楽しい遊びを大切にしたいと考えています。

ご厚意でお借りしている畑で、春風会の皆さんの協力を得て、幼児が野菜を育て、収穫しています。春にはカレーパーティー、秋には焼きいもつこ遊びなど、仲間と楽しんでいきます。かわいい「お店屋さん」ができた、音楽に合わせて踊りを見せてくれる「ステージ」が始まりました。



自然豊かな土手の竹やぶでは、幼児は四季に応じてタケノコ掘り・クワガタ採り・ドングリ拾いなどを体験しています。

毎年夏には保護者・地域の協力でPTAがバザーを行っています。幼児の楽しめるゲームコーナーもあります。それらの収益で本年は親子で船に乗って港を巡ったり、移動動物園を呼んで楽しむという企画です。

地域にお住まいの小さなお子さんとその保護者の皆さんにも園庭を利用していただける日を特別に設けています。毎週水曜日10時~11時30分です。どうぞお出掛けください。(園長 田口鉄久)



東海道ウォーク特集

よつかいち街道ウォークに参加しませんか

東海道宿場・伝馬制度制定四〇〇周年を記念して、四日市では南北2コースでスタンブラーがおこなわれます。



三代豊国画

羽津地区では街道を花で飾り、志氏神社の祭礼にあわせ獅子舞や子供みこしを楽しんでもらおうと考えています。また、街道名物「名残松」「夫婦石」はじめ史跡案内を語りべが説明します。

四日市の前に広がる海はかつて「那古浦」と言い、今でも春先の天気の良い日には沖合に蜃気楼が目撃されます。今はコンビナートや家並みが続き想像できませんが、かつて羽津の前には羽津浦という海が広がり、昔から「那古

のお渡し」と呼ばれた蜃気楼現象がこの辺りからよく見られたそうです。

十月十四日(日)に催される「街道ウォーク」にはこの故事にちなんだ浮世絵のスタンブでお迎えしようと思えます。

この美人画は広重の宿場の図とともに四日市を描いた浮世絵の一つです。背後に描かれているのは蜃気楼。昔の人はその様子がまるで龍宮城が浮かび上がったように見えたのでしょうか。

羽津見玉マップ

保存版



花いっぱい運動

花美好会員

藤川美智子

私たちは社会福祉協議会の依頼のもと、東海道を飾るために三種の種をまき、苗を育てました。中でもベチュニアの種は小さく、初めて心配でしたが、なんとか苗を作ることができ、全員が喜びの経験を見せて頂き、新たに頑張ろうという気持ちになりました。

環境交通安全部会

黒田あゆみ

六月十日、プランターの花の植え替えに参加し、とても大変でした。

今まで、その道を通ってもあまり気にしていませんでしたが、今はおもわず目にとまり、花が咲いているのを見ることがうれしくなります。

羽津町第三

広瀬 達士

家の軒先に花が植ったプランターを見た時、この花を枯らしてはいけないと、責任感が出てきました。毎日の水やり、そして近所との比較、満足感等、今迄に気にもしなかった花に、私の心が動かされました。



霞ヶ浦駅花壇

はづ街道のオウ

●羽津山緑地

伊賀留我神社

東海道400年祭 in はづ

羽津小学校

羽津中学校

羽津会館

羽津北小学校

羽津城跡

●城山公園

●志氏神社

大矢知街道

●羽津地区市民センター

●光明寺

●志氏神社の鳥居

●八幡地蔵堂

夫婦石

名残松

四日市自動車車検場

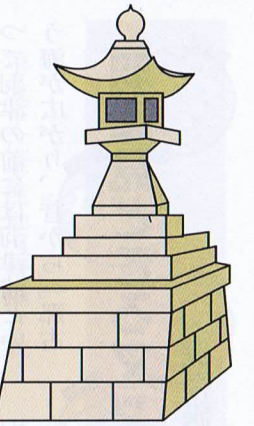
国道一号線

富田山城線

東海道

オーストラリア館

四日市ドーム



光明寺の石碑には、東海道を南へ百メートルも行く、古い石垣、山門、鐘楼が目

光明寺の歴史



江戸末期から町の中心に位置するのは森玄昌さんの屋敷です。約二百年前からの蔵、納屋などよくその姿を残しており、現在も町の医院として親しまれております。文化の方面では明治の初めより伊勢大神楽という獅子舞があります。七月は小祭、十月は大祭として志氏神社に奉納し、祭の二日間は町内狭しと舞い続け賑わいます。
(羽津町第三自治会)

東海道と八幡村

今は八田第一と言いますが以前は八幡(やわた)と言う地名で、東海道の両側に細長く(約1km)発展した町でした。北の端には米洗川の常夜燈があります。明治三十五年に建てられ、今年でちょうど百年になり、その間、町民の皆さんの手で守って来ました。昔東海道の西側に地名の由来である八幡神社がありましたが、現在は八幡神社旧跡碑が東海道の一角にあります。その隣にある地蔵堂は八幡の地蔵さんと親しまれ、八月二十四日には安全祈願・延命祈願祭が、保存会によりとりおこなわれています。
(八田第一自治会)

名残りの松

東海道の松並木は、江戸時代に植えられた松だと思えます。樹齢は二五十年はあろうかと思われま。当時はその松から油や松やにを採取していたと聞いています。その後伊勢湾台風によりほとんど枯れたり、松くい虫などの被害にあり、現在残っている松は、八田第二の一本だけになってしまいました。
(八田第二自治会)



東海道の名物 妖石

東海道から志氏神社に通ずる参道に一の鳥居があります。その前に道をはさんで一対の大きな石があります。東海道の名物「妖石」として昔から旅人はこの石を夫婦で撫でて伊勢参りの無事を祈って旅を

入ります。これが光明寺です。門前の石碑には「八十宮御遺跡」とあります。八十宮とは霊元上皇の第十四皇女八十宮吉子内親王のことです。宮は二歳のとき徳川七代將軍家継(七歳)と婚約しましたが、翌年家継が亡くなり、幼くして髪をおろし青蓮院で亡き婚約者の菩提を弔われました。当時、青蓮院御曹司となった光明寺の妹がこの宮に仕えることになりました。宝暦八年(一七五八)八十宮が亡くなられた折、長年の奉仕の功により位牌遺品を賜り宮家扱いにされました。戦災で遺品は消失しましたが、戦時中でも鐘も供出せず格式を守った寺でした。
(羽津町第二自治会)



京都興正寺から送られたかご

ゴミ問題を考える



去る8月8日、自治会長を中心にごみ問題の懇談会を開催しました。ごみ分別はなかなか守られないのが実態です。「地球の温暖化」及び「ダイオキシン問題」と地球にやさしい環境づくりには、自治会管理でも市の処理においても取り組みが不可欠です。

Q: 家庭でのゴミ焼きは!
A: 廃棄物処理法で四月からは処理基準を満たさない施設では例外を除いて野外でのゴミの燃焼は禁止。
一例ですが庭木の剪定した物は個人では「一般ゴミ」として金(木)曜日の週後半に適量に縛って搬出。(業者は自己責任で処理)家庭での野外焼却はやめましょう。
Q: 不法投棄の問題は!
A: パトロール隊をつくり廃棄物の不法投棄監視をしているところですが手薄な面もあり皆様から情報も頂きたい。草刈等も不法投棄の温存にならないよう環境整備をお願いしたい。

Q: ゴミの収集方法がシビアになりました。回収しない可燃物増大中です!
A: ※一般ゴミ(生ゴミ)をダンボール箱に入れた搬出はやめてください。(ダンボールは再生品)
市指定のゴミ袋以外の搬出はだめです。
(混乱して入っている)
※再生可能物と埋立ゴミの区別を分別表で再確認する。
・ゴルフはアイアンであれば再生の時に
・板ガラスは今「ビン・ガラス類」ですがガラス割れと表示して下さい。
・電気かみそりは埋立ゴミで出してください。又、熱を出す電気製品はほしい金属ですから再生可能物です。もちろん家電4品目だけは有料で電気屋さんで処理下さい。
Q: 業者の方(商売を目的)のゴミの搬出等について
A: 回収業者に依頼をして地域の回収置き場には搬出しなさい。仕事で出るゴミは必ず業者で処理する。
※建築・土木工事の後でU字溝の清掃には指導をして行きたい。
Q: その他(広報活動・環境)

情報・アパート建築時・不法投棄の監視カメラ設置・小学校時のゴミの教育
A: ※機会があれば町内ごとに説明に参ります。又、「エコステージ」は環境学習として地域のリーダー養成、学習指導として啓発誌です。活用下さい。
※アパート・マンション建設の時は建築指導課等に事前相談を受けてください。
※監視カメラも不法投棄防止の為設置の方向で検討する。
※小学生から夏休みに宿題で研究成果を生かして頂きたいです。ね!ルールを守って町の美化に協力を願っています。
その他ゴミを燃やすと、ダイオキシンが発生します。環境問題ではダイオキシンとか炭酸ガス等産業界から四〇・三〇%、車・船舶等二〇・三〇%一般からは一〇%しか出していない。順次指導をしてもらいたい。高温燃焼するため、北部清掃工場も改築した説明を受けました。
※平成十四年一月から粗大ゴミが一部有料収集となります。一品・千円券購入

東海道 名残りの松
昔、東海道は松並木が続いていました。今はその面影はなく、「残り松」として現存する程度です。
去る八月三日、東海道四〇〇周年を機会に、木のお医者さん「樹木医」の坂口卓也さんに羽津の名残松を診断、処方をしていただきました。
★松の木の寿命は何年ぐらいですか?
松の木の寿命は一概には言えませんが、普通は三〇〇年と言われています。立地条件でかなり差があります。この松は二〇〇年そこそこだと思えます。
★昨年、残念なことにもう一本が松食い虫によって枯れましたが、この松は大丈夫でしょうか?
ナタで叩いた音の診断からは空洞になっていないようです。
★予防法はあるのですか?
松の若い芽をカミキリムシ等に食べられた所から菌が侵入して繁殖します。薬は多く出回っていますが、木に注射するのは二〇cm間隔で千鳥状に打ち



込んで一周します。薬効は三年程度です。
★永く保存するにはどうしたら良いでしょうか?
傾いているのは良くありません。人間で言えば老齢で腰が曲がるのと同じで年々傾きは加算されます。今のところ倒れる心配はないでしょう。
松の枝も下がっています。これは木の衰弱現象ですが、肥料を与えてはいけません。対策としては適当に枝を切ることに。これは風による倒木の防止にもなります。
また、できれば土をむき出しにすること。木は枝の張る広さ分だけ根が張っていると云います。息ができるようにすると良いでしょう。
育てるといふより延命できるように地域の人々の理解や協力が要です。



羽津町の昔

光明寺門前から南進して最初の横丁までの小字を中村と呼び、これから北、鳥居までを中北條と言ひ、南を中南條、南條と呼んだ。中村は城下町の中心ではなかったかと思われる。
今の姿に整備されたのは、関ヶ原の役の直後、慶長六年



金場の地藏さん

国道一号线金場交差点の東側に「金場の地藏さん」として親しまれている延命地藏尊があります。八幡の地藏さんとともに疫病や災難が村に入らないようにと羽津村の南北の境に建てられました。また一つの石から作られた兄弟地藏とも言われています。
羽津の東海道はこの金場で終わりますが、江戸時代、桑名、



連子格子のある家 森源八商店



●金場地蔵堂



(一六〇一)江戸の徳川政権の命令による。(矢守勝一氏による)
そして中南條と中村が羽津本郷町となり、この頃には、わが町に駐在所が置かれていました。やがて羽津町となり、また駐在所も阿倉川駅前に移り交番となりました。
現在連子格子の家が二戸残るが、終戦後までは旅人の休憩を兼ねた縁台のあるはめ込み連子もあつたこと。往時の旅人の休憩所として東海道のにぎわいがうかがわれます。(羽津町第一自治会)

自治会紹介

一城山町

東海道沿道には羽津の村のほほ中央に位置する氏神様への「宮みち」参道があり、大きな石の鳥居を潜ってお参りをした。その鳥居の袂には大小二つの石があり、旅行く人々は子宝が授かるようお祈りしたそうです。当時の人はその石を「夫婦石」と名付けたが、今では道の西と東に位置しています。
石の鳥居より南へ三、四軒来たところに立派な山門の寺



院「光明寺」があります。四百年の歴史をもつ浄土真宗本願寺派で、六年前本堂と鐘堂山門の屋根修復が行われ、多くの檀家に支えられ、参拝者も絶えることがありません。更に南方へ数軒来た角地には明治初期からの造り酒屋がありました。銘酒「妹石」を造り各地へ販売していたが、それ以前には「鈴屋」という屋号で土鈴を売っていました。
この東海道の羽津村の南端になる地点が現在の城山町で、その羽津城址には日露戦死者英霊碑と、元羽津村長の富永四郎氏が書いた石碑が、今も城山公園の一角に奉られており、城址の下を走る伊勢電鉄は、現在では近鉄名古屋線が走っています。



球技大会 成績表

羽津球技大会 8月5日(日) 四日市ドームにて開催

	優勝	準優勝	3位
男子	別名3	別名4	別名5.6
女子	八田1.2.3	別名5.6	いがるがA
混合	羽津1.2.3	別名1	別名2

四日市市球技大会 8月26日(日) 四日市ドームにて開催

男子	別名3丁目チーム出場初戦敗退
女子	八田1.2.3チーム3回戦にて敗退



「ダメ ゼツタイ」は薬物乱用防止の合い言葉



グラウンドゴルフ大会

八月四日(土)、四日市ドームにて、グラウンドゴルフ大会『ナイターインドーム』が行われました。

自前のクラブを持った熟年パワーが、時間前から多数ドームに詰めかけました。

人工芝の、しかも凸凹なし、誰もがホールインワンを狙いますが、球は簡単に入ってくれません。各ホールの一打、一打に、歓声が沸いていました。

参加者が約九十名、連日の熱帯夜に、子どもたちより一足早い、良い汗を流しました。

〈健康推進部会〉

青少年育成協議会



第30回全国中学校ハンドボール大会



羽津中学校ハンドボール男女共全国大会へ躍進!

- 中体連全国大会出場 (山口県) 出場
- 中体連三重県大会三位
- 中体連三重県大会出場
- ハンドボール男子
- ハンドボール女子
- 野球
- バレーボール
- ソフトテニス男子
- ソフトテニス女子
- 中山敬介(卓球男子個人)
- 森 麻美(卓球女子個人)
- 前田智大・掛下純平(水泳)
- 中体連三四大会 準優勝
- 第31回中部中学校野球大会出場(名古屋ドーム)
- 第12回ジュニアユースサッカー選手権県大会出場

初めての全国大会

第21回ペシカップ

全国小学生バレーボール大会

八月七日から十日まで全国大会に行ってきました。東京体育館は広く緊張しました。結果は2勝2敗。決勝戦はベストをつくしましたが、レベルの違いを実感し進むことができませんでした。羽津が出場できたのは、伊原監督、森コーチ、松永コーチ、大森さんの指導と皆様の応援のお陰です。ありがとうございます。



編集後記

今号は、東海道宿場、伝馬制度四百周年を記念して沿道を飾る花々や、祭を盛り上げる伝統行事など、名所・旧跡を折りまぜながら羽津の見どころマップ(全ページカラー)でご紹介いたしました。昔の旅人に思いを馳せながら一度訪ね歩いてみてはいかがでしょうか。

〈広報部会〉



〈福祉部会〉

お年寄りに 敬老記念品贈呈

羽津地区では、敬老行事として九月十五日に七十歳以上(千三百四十三名)の方々に自治会を通して記念品の配布をさせていただきました。